



しおかぜ

宮城県大会について

宮城県では新型コロナウイルス感染症の新たな感染者数は、本日(19日)231名となりました。明日(20日)から9月12日まで「蔓延防止措置」の適用になります。

宮城県大会開催の最終会議が、8月1日に開催されました。しかし、宮城県の「蔓延防止措置」の適応により、開催中止となりました。大会に向けて稽古してきた拳士も居り、大変残念ではありますが、今後、何かには活かせるものと思います。

従来通りコロナ感染防止対策をとりなが



2021.05.31 仙台社都道院での修練で

ら修練を続けますが、仙台社都道院については蔓延防止措置により8時までの修練となります。また、今後「緊急事態宣言」が出た場合は両道院共、修練の休止となります。今後、緊急事態宣言が出る程の、新たな感染者数の増加が無いこと期待し、修練に励みたいと思います。

大澤隆管長 縁起

平和への思いを新たに

8月になりました。

コロナ禍になりながらもオリンピックが開催され、世間では選手たちの活躍に注目が集まっていることと思えます。オリンピックが平和の祭典であるように、私たち日本人にとって8月は平和への思いを新たにする月でもあります。

日本は終戦をむかえて以降80年近く経過し、平和な社会で生活できています。しかし、世界を見渡せば紛争やテロ、人為的なもの以外にも飢餓や自然災害により苦しんでいる人もいます。一見、平和に見える世の中も、もしかするといつ平穏が脅かされるかわからない、ぎりぎりのところにいるのかもしれない。

開祖は厳しい戦中の時代を生き抜かれませんでした。奪い合うばかりで得るものがない生存



競争の真ただ中にいた体験から、「力の伴わざる正義は無力なり、正義の伴わざる力は暴力なり」、また門信徒の行動の在り方である「力愛不二」という言葉を残されています。当時の開祖にとって、「力」や「愛」は、私たちが考える以上に、重みのある言葉だったのでしよう。力だけがあっても、逆に愛だけがあっても役には立たないということ痛切に感じていたのだと思います。そして、二度とこのような悲惨な思いをしたくない



2021.07.10 塩竈道院での絵本タイム

今後の予定

- ◎ 8月27日(金) 19:00～21:00 塩竈教区 僧階取得の為の勉強会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 8月29日(日) 9:30～11:30 特別稽古(塩竈道院専有道場)
- ◎ 9月24日(金) 19:00～21:00 塩竈教区 僧階取得の為の勉強会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 9月26日(日) 9:30～11:30 特別稽古(塩竈道院専有道場)

2001.08 花山少年自然の家での夏季合宿



という強い思いから、少林寺拳法を創始し、「人づくり」に情熱を燃やされました。私たちの修行は、易筋行が主たる行ですが、技法を身に付けることが終わるではありません。修行のプロセスで学ぶ積みあがき、それらも含めて実社会の中で生かしていくことが必要です。平和で豊かな社会をつくるために、一人一人が開祖の原点を確認し、日々の修行で学んだことを、身近なところから実践していきましょう。

しばらくは厳しい暑さが続くかと思いま

す。熱中症には十分に気を付けて、その日の気温や湿度、ご自身の体調に合わせて、活動するときは積極的に活動し、休む時には身心共にしっかりと休むなど、体調をうまく管理しながら、有意義にお過ごしください。

あの日あの時

初期の頃の合宿は、「七ヶ浜町の民宿」でしたが、その後、泉ヶ岳青年の家、平成13年頃から「花山少年自然の家」に定着しました。午前中に沢遊び、午後は工作、夕方は野外炊飯、夜は映画鑑賞と星座観測、振り返ると楽しい思い出ばかりです。

中国古典 紹介

「知はなちお水のごとし、流れざるときはすなわち腐る」を掲載

『宋名臣言行録』

水はたえず流れていないと腐ってしまい、飲み水としては使えなくなる。「知」もそれと同じように、たえず使っていないと、サビついて使いものにならなくなるのだという。

「知」とは、この場合、頭といったほうがわかりやすいかもしれない。

張詠という宋代の名臣が、部下に対して

言いかけた言葉だという。かれは、こうも語っている。

「大小の事、皆すべからず知を用いずんば、大事の際に臨みて、いずくんぞ知の来るあらんや」

ふだんから頭を使っていないと、いざというとき名案など浮かんでこないというのだ。われわれはよく、事が終わってから、ああすれば良かった、こう言えば良かったと後悔することがある。これを「愚者の後知恵」という。どんなに名案が浮かんだところで後知恵では仕方がない。それと言うのも、ふだんから頭を鍛えておかなかった報いであらう。



2021.07.10 塩竈道院での修練で